西小だより

ホームページはこちら→

「強く　正しく　健やかに」　令和4年 2月8日（火）　第15号　校長　都外川　潔

西小の子どもたちのがんばる姿…素晴らしいです

西小だより第10号でお知らせした「かけ算九九　校長室チャレンジ」に、多くの子どもたちが取り組んでいます。

休み時間になると、子どもたちが校長室にやってきて、「今日は5の段をします」などと言って、一生懸命に九九を言います。そのがんばる姿を見ていると、とてもうれしくなります。正しく言えたら、スタンプを押します。ほとんどの子が「ありがとうございました」と笑顔で言ってくれます。

チャレンジカードが全員に配られている2年生だけでなく、上の学年にも復習で取り組んでいる子がいます。そのやる気がとてもいいなあと思います。カードは校長室の前にも置いているので、2年生以上のみなさんはチャレンジできますよ。

また、こんなうれしいお電話を、地域の方からいただきました。

> 散歩中、足が不自由なため、転倒してしまいました。その際、3、4年生ぐらいの男の子と女の子が、「おじいちゃん、大丈夫？」と心配して、ずっと見守ってくれました。別れる際には、「気をつけてね。」と優しい言葉をかけてくれるなど、大変うれしかったので電話しました。西大村小の子どもたちは、日頃からあいさつが良く、いつも感心しています。

電話された方は、転倒の際、左ひざをすりむいたぐらいで、大きなけがもなく、元気にされているそうです。そのことも、子どもたちに伝えてほしいとのことでした。

子どもたちの健康について

1月下旬から、発熱等による出席停止のお子さんが増え、学校では音楽会などの行事を延期したり、外遊びの際にもマスク着用を呼びかけたりしています。子どもたちには、これまでよりもがまんをさせる場面が多くなり、申し訳なく思っているところです。

さて、お子さんが発熱された等のご家庭からの連絡は、先週までが多く、その後は、やや落ち着いてきている状況です。ただ、まだまだ気をつけなければならないと思っており、発熱等のお子さんが多くなった場合は、関係機関と連携して学級閉鎖等の措置をとっていきます。

全国的に感染が拡大しているオミクロン株による子どもたちの症状は、県外のデータですが、1月25日の福井新聞オンライン版によると、次のようなものがあるとのことです。

※12歳未満の軽症者110人を調査した結果（その他に無症状の子が24人とのこと）

・37．5度以上の発熱が34．7%　発熱の平均値38．6度　ほとんどは2日程度で平熱

・せき15．7%　頭痛12．8%　のどの痛み・鼻水・鼻づまり11．6%

・吐き気や腹痛を訴える子どもも少数ながらいたとのこと

（全年代では約6割に37．5度以上の発熱、のどの痛みがみられたとのこと）

このような症状がみられる場合は、医療機関を受診してください。これからも、学校でもご家庭でも、十分気をつけていきましょう。また、現在体調がよくない状況にある子どもたちや保護者の皆様の早期のご回復を心から願っております。どうぞお大事になさってください。